

鴨川水系 ユリカモメ分布調査

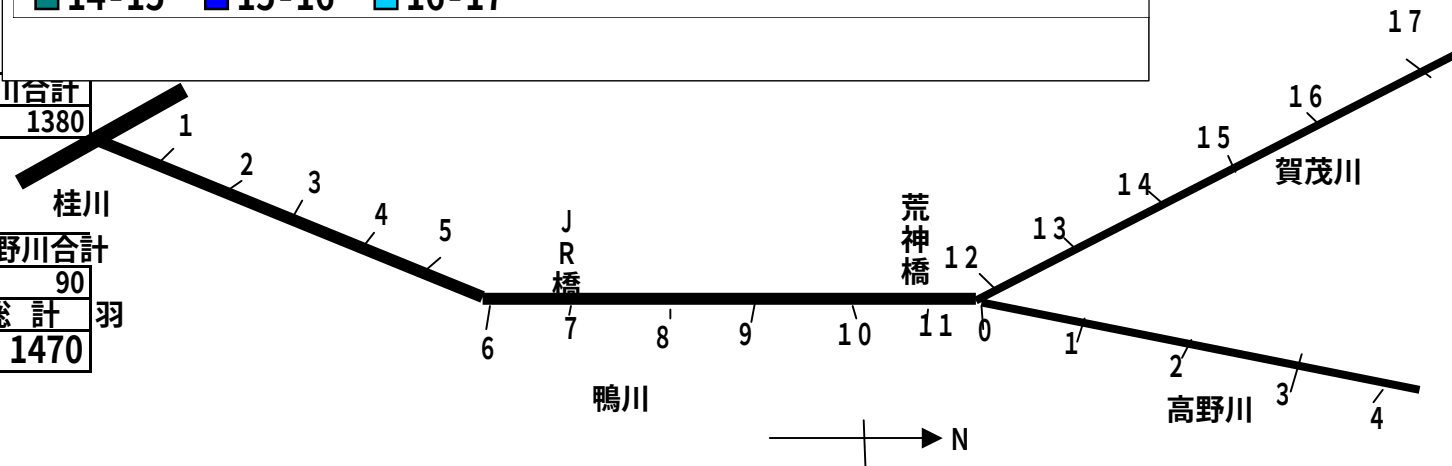
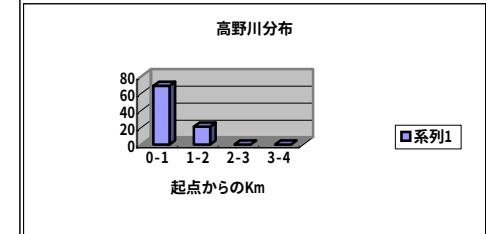
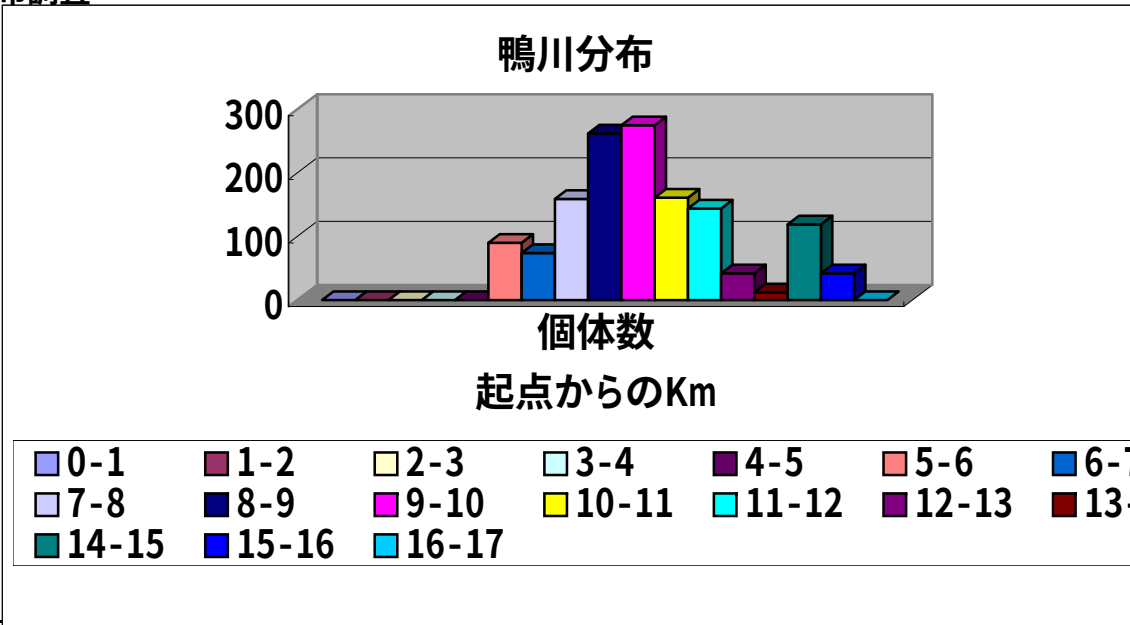
調査年月日 2006/1/9

区間	
鴨川Km	個体数
0-1	0
1-2	0
2-3	0
3-4	0
4-5	0
5-6	90
6-7	74
7-8	159
8-9	262
9-10	275
10-11	161
11-12	144
12-13	42
13-14	12
14-15	119
15-16	42
16-17	0

高野川	個体数
0-1	69
1-2	21
2-3	0
3-4	0

幼鳥率 4.10%

鴨川合計	1380
高野川合計	90
総計	1470



鴨川水系のユリカモメ数量調査 1987年－2006年 ユリカモメ保護基金

調査年月日	1987/1/31	1990/2/4	1993/12/3	1994/2/6	1996/12/8	1998/1/15	1999/1/15	2000/1/10	2001/1/8	2002/1/14	2003/1/13	2004/1/12	2005/1/10	2006/1/9
合計	7,479	5,209	4,340	5,695	3,838	2,532	3,736	3,841	2,679	2,737	2,292	1,773	2,757	1,470
鴨川	6,528	4,610	3,760	4,630	3,236	2,144	3,102	3,483	2,500	2,465	2,057	1,773	2,631	1,380
高野川	951	599	580	1,065	602	388	634	358	179	272	235	0	126	90
調査団体	A	B	A	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C

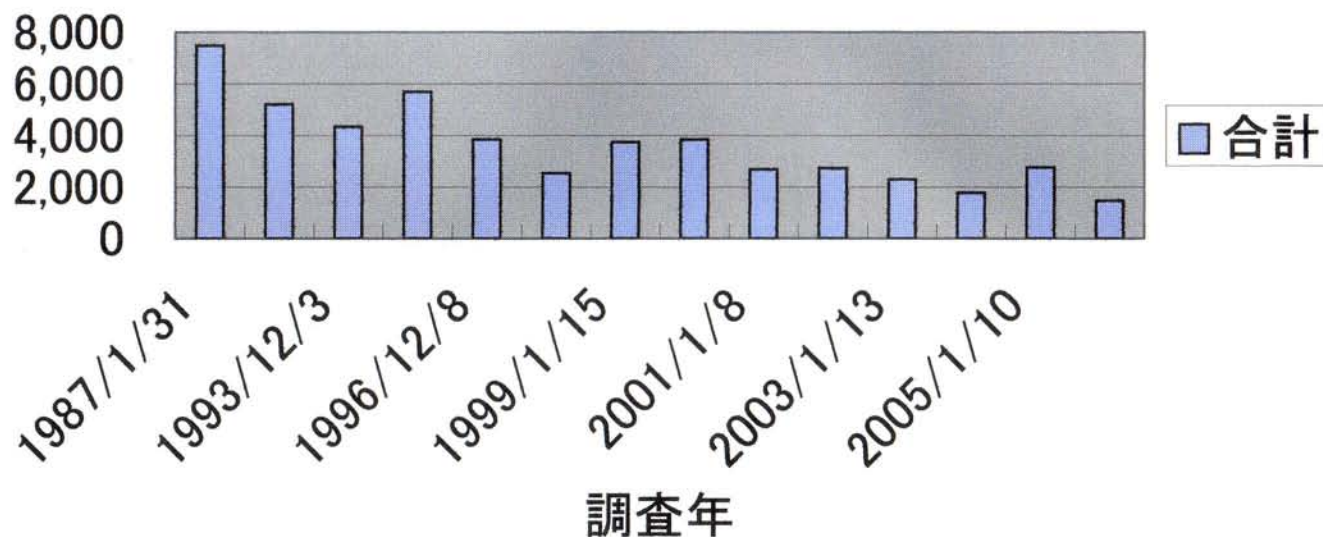
調査対象=桂川合流点より上流へ17Kmと高野川4Kmの合計21Kmの区間

A: 京都ユリカモメ研究会

B: 日本野鳥の会京都支部

C: ユリカモメ保護基金

ユリカモメ統計



今回の調査に協力頂いた皆様へ

前略、当日はお天気にも恵まれ、良い調査日和でしたね。皆様のご協力のおかげで全行程21キロをくまなく調査出来ましたことに感謝いたします。観測を始めて以来の数の少ない年でしたが、あの様に一年に一度ユリカモメを通じて一同に会するイベントは、ユリカモメを愛する者にとって交流の場所としてだけでなく、京都・鴨川を愛しておられしかもその為に何かお役に立てたいと思っておられる方々がお集まりだと理解しております。

須川さんや皆様から頂いたホットな情報は、刺激的で参考になることばかり、それぞれに学びあうことで少しでも役に立てる雰囲気がとても気に入っております。

取りあえず今回までのデータをお送りします、ご参考になさって下さい。
須川さんには昨年のカムチャツカ報告や有馬君にはロシアでの剥製比較で地域による大きさの比較など講演で大いに見聞を広めました。

2006/1/9

ユリカモメ保護基金 代表 川村周仁